

中村学園大学

中村学園大学 音 成 陽 子

1. 本学の概要

福岡県福岡市城南区にある中村学園大学は1954（昭和29）年に福岡高等栄養学校の設立から、2020（令和2）年で創立66周年を迎えた。学園祖中村ハル先生の遺訓「努力の上に花が咲く」および建学の精神【人間教育の根幹（日本人としての自覚をもち「清節の風をたつとび、感恩の情にとみ、労作にいそしむ」人格の形成に努める。）】【教育実践の基底（「形は心の現れである」を信条とし、その実践に努める。）】【教育研究の基本（理論と実際の統合を図り、学問と生活の融合を重んじ教育と研究に努める。）】のもと教育・研究が行われている。本学は2付属幼稚園、2併設高校、大学内保育所を有している。また、キャンパスの施設設備は中村学園大学短期大学部と共有している。本学は栄養科学部、教育学部、流通科学部の3学部からなり、大学と短期大学部あわせて約4,500人（内、男子学生は約2割）が学んでいる。教員は約140名であり、体育部門の教員9名（助教・助手を含む）が3学部と短期大学部に所属している。

福岡空港から1時間以内、地下鉄を使えば福岡市の中心地の天神から15分程度でアクセスが可能であり、福岡タワー、PayPay ドーム、大濠公園などの名所も近くにあり、立地に恵まれている。また、周辺には本学以外にも幼稚園・保育所、小学校、中学校、高等学校、大学と多数の学校があり、住宅・文教地区となっている。

2. 学部の概要

栄養科学部は栄養科学科とフード・マネジメント学科の2学科から成り、栄養科学科は健康の保持・増進、疾病の一次予防と重症化予防、生活の質の向上等に寄与できる管理栄養士を養成している。フード・マネジメント学科は、栄養科学の知識・技術を基盤に、食品の研究・開発・製造に関する食科学をグローバルな視点から国内外のビジネスへつなげる高度な専門性と実践力を備え、食産業で活躍できる人材を育成している。教育学部は子どもたちの健全な成長を支援してい

ける人間性豊かな教育者・保育者の養成を行っている。流通科学部は経営分野と商学分野を中核とした教育を行い、社会で指導的役割を果たすことができる人材を育成している。

3. 体育関連施設

1) 体育館：約5,400㎡の敷地に1階にメインフロアとサブフロアを備え、2階以上はピアノ室や音楽表現室などの音楽館となっている。メインフロアではバドミントンやバレーボール、バスケットボール等のスポーツや各種実習、サークル活動に利用している。サブフロアでは卓球、軽スポーツ、各種実習を行っている。

2) 第2体育館：約3,700㎡の敷地に1階は柔道場、2階は管理人室・更衣室・シャワー室・ラウンジ、3階は多目的フロア、4階はトレーニング室となっている。多目的フロアではダンス、軽スポーツや各種実習を行い、トレーニング室は管理栄養士育成の運動指導等の実習のほか、管理人室に使用を届け出ることで学内関係者は自由に利用できる。

3) グラウンド・テニスコート：約6,000㎡の敷地にテニスコート（オムニコート）4面を奥に配し、サッカーやソフトボール、各種実習等を行っている。

4) 中村学園田島グラウンド：旧九州大学田島寮の跡地に軟式野球場1面（右翼90m×左翼80m）、人工芝のラクロス兼サッカー場1面（92m×50m）と5人行射の弓道場とクラブハウス等がある。クラブハウスには部室5室、ミーティング室2室、シャワー室、更衣室、管理人室を設置している。グラウンドは500mのジョギングコースで取り囲み、夜間照明を備え、20台収容の駐車場と100台収容の駐輪場を設けている。このグラウンドは雨水対策を図っており、軟式野球場は人工芝のグラウンドに比べて約20cm切り下げることによって、約1,000tの雨水を一時的に貯めることができ、地域の治水に役立っている。

4. 体育関連等のカリキュラム

1) 教養教育

3学部とも「生涯スポーツ実習（名称は学部によって多少異なる）」を選択科目として前期および後期に配している。生涯にわたる運動・スポーツの必要性の理解、健康・体力づくりに対する運動・スポーツの正しい知識の獲得、それらの日常的な実践を目指している。全学共通の授業資料「実習ノート」を体育部門の教員全員で作成し、各自の授業で活用している。授業形態はいずれの学部も3～4グループの少人数で実施している。加えて、教育学部と流通科学部は、日常生活や社会の営みに必要な教養として運動・スポーツの歴史や文化、健康の重要性を理解するために講義科目「生涯スポーツ論」をそれぞれ選択科目・必修科目として配している。

2) 栄養系専門教育

子どもから高齢者、疾病者やスポーツ競技者に至る各ライフステージ、身体状況、栄養状況に応じた効果的な運動方法や栄養管理の考え方を学び、将来、管理栄養士や食に関わる職業において必要な知識と技能の獲得・実践を目指している。そのために、運動生理学・体力科学の理論を修得する必要がある。そこで、「演習運動生理・栄養管理」「応用栄養学Ⅱ（含む運動栄養）」「スポーツ栄養学」等の科目を配し、身体活動（運動・スポーツを含む）と栄養の関連性の視点から教育している。

3) 教育系専門教育

①小学校系：小学校教員として必要な「体育科」の目標と内容を理解し、各運動領域の指導において必要な基礎知識や技術および技能、指導法（教材づくり、授業づくりを含む）を習得することを目指して、講義および演習・実習を行っている。「体育A」「体育B」「体育C」「体育科教育法Ⅰ」「体育科教育法Ⅱ」「運動発達論」を系統立てて配している。

②幼保系：乳幼児対象：幼稚園教諭ならびに保育士として必要な幼児期の体力・運動能力を理解し、運動発達の評価方法や運動遊びの指導・援助、安全面への配慮等の修得を目指している。加えて、基本的生活習慣や健康の基礎知識等を理解し、実践できる力の獲得をねらいとしている。「幼児と運動A」「幼児と運動B」「幼児と運動C」「保育内容健康Ⅰ」「保育内容健康Ⅱ」「運動発達論」を系統立てて配している。



図1 体育館メインフロア



図2 グラウンド



図3 第2体育館4階トレーニング室



図4 田島グラウンド

手前：人工芝のラクロス兼サッカー場
奥：軟式野球場